

第2学年生活科学学習指導案

1 単元名 「みんな たのしい 『〇〇フェスタ』」

2 単元について

(1) 児童の実態

対象学年の児童は、意識調査(対象児童64名)によると、「おまつりは好きですか」の項目では、ほとんどの児童が「好き」「まあまあ好き」と答えている。しかし、中には1年生の時に『〇〇フェスタ』が嫌で登校を渋った児童もいる。

前単元「作ってわくわく あそんでにっこにこ」では、身近にある物を使い、自分なりの考えを生かして遊ぶ物を作り、お互いに遊びを楽しむ経験をしており、作ったり遊んだりする活動を好む傾向にある。

また、前単元の学習の後半では、前年の2年生の活動の様子から、『〇〇フェスタ』につなげることをすでに意識している児童もおり、『〇〇フェスタ』に取り組もうとする意欲は高まりつつあると考える。

班での活動については、日ごろから学習場面や給食・掃除などの生活場面でも活動を行っており、慣れている。

(2) 単元観と教師の願い

前単元で作ったみんなであそぶおもちゃを活用し、『〇〇フェスタ』で出す、「おみせ」について班で考えさせるようにすることを導入に位置付ける。自分が作った遊ぶ物についてそれぞれの思い入れがあることや、友達の考えた遊びのよさを踏まえて、どのような「おみせ」にすれば、来てくれたお客さんが楽しく過ごせるかを考えさせるようにする。班は生活班とし、日常的に活動しやすくしておく。

何の遊びをする「おみせ」にするか、どのような物を準備するかなど見通しをもたせた上で準備物の製作を取り掛からせるようにする。準備ができたところで、2年生だけで試しのお祭り『ちょこっとフェスタ』を行う。その際、他の班の「おみせ」のよさや改善点についてのアドバイスなどの気付きを伝え合うようにさせる。その後、『ちょこっとフェスタ』をしてみたの気付きや、あるいは他の班からのアドバイスを基に遊びや遊ぶ物の手直しや必要な物の追加などを行わせる。

そして、本番の『〇〇フェスタ』に参加し、自分たちの「おみせ」に来てくれた友達や他の学年の人々、地域や保護者の方々から「おきゃくさまカード」を書いてもらい、よさを伝えてもらうようにする。また、『ちょこっとフェスタ』のように自分たちがお客さんになった時間には、他の班の「おみせ」に「おきゃくさまカード」を書いて渡させる。

『〇〇フェスタ』を終え、単元全体の振り返りを行い、班の友達のよさを伝え合う活動を行う。ここでは、それぞれのよさについて一人ずつ「がんばり賞」を渡す活動を取り入れる。このことにより、自分のよさや特徴に気付き、自分への自信を深めることになると思う。

3 単元の目標

友達と協力して、『〇〇フェスタ』での遊ぶ「おみせ」を作り、来てもらった人々に楽しんでもらったり、自分で楽しんだりすることができる。

4 単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
『〇〇フェスタ』に関心を持ち、進んで「おみせ」の準備や役割に取り組み、参加しようとする。	『〇〇フェスタ』で楽しむための計画を考え、楽しかった活動について、表現できる。	『〇〇フェスタ』の計画や準備、参加を通して、人とかわるよさや自分のよさに気付く。

5 単元の指導計画（全 11 時間）

時 数	主な学習活動	教師の指導・支援	評価		
			関・意	思・表	気付き
1	○『〇〇フェスタ』でみんなが楽しく遊びができる「おみせ」を考える。 （班で話し合う）	<ul style="list-style-type: none"> どのような「おみせ」にしたいか、何の遊びをするのか班で話し合わせる。 前単元で作った遊ぶ物から話し合っ て決めさせる。 班で一つの遊びにしてもよいこと や、それぞれの遊びを組み合わせ てもよいことを伝える。 		○	
2	○班の「おみせ」作りの計画を立てる。 ・班の看板は？ ・賞品は作るか？ など	<ul style="list-style-type: none"> 班で決めた「おみせ」に必要な物 について話し合い、役割分担等を 決めさせる。 必要な物を作るための材料につい て、持ってくる物についても話し 合わせておく。 	○		
3 ・ 4	○「おみせ」を開く準備をする。 （必要な物を作る。）	<ul style="list-style-type: none"> 役割分担や協力しながら、「おみ せ」に必要な物を作らせていく。 必要に応じて、班の「おみせ」で の遊び方の説明についてもカード に書かせ確認させる。 	○	○	
5 ・ 6	○『ちょこっとフェスタ』をし てみる。 ・気付いたことを「おきやくさ まカード」を使ってお互いに 伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> 学年で試しに「おみせ」を開き、 『ちょこっとフェスタ』に取り組 ませる。 お互いの班の「おみせ」で、よか った点や改善点等について伝え合 わせるようにする。 			○
7	○「おみせ」の手直しをする。	<ul style="list-style-type: none"> 『ちょこっとフェスタ』をしてみ て気付いたことや他の班からのア ドバイス等から自分たちの班の「お みせ」の手直しを行わせる。 必要に応じて、班の「おみせ」で の遊び方の「説明カード」を修正 させる。 	○		
8 ・ 9	○『〇〇フェスタ』をする。 ○気付いたことを「おきやくさ まカード」を使って」お互い に伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> 『〇〇フェスタ』でそれぞれの役 割を確認させ活動に取り組ませる。 お互いの班の「おみせ」で、よか った点について伝え合わせるよう にする。 		○	○
10 ・ 11	○『〇〇フェスタ』で楽しかつ た思い出を基に、友達の頑張 りを伝え合う。 ・一人ずつ賞状を作り渡すよう にする。	<ul style="list-style-type: none"> 『〇〇フェスタ』のときの写真や これまでの学習のワークシートを 基に、単元を通した振り返りを班 で行わせ、お互いの頑張りについ て称賛させる。 班の中でお互いに賞状を作り、渡 す活動を位置付ける。 		○	○

6 単元の評価計画

時	評価規準	見取りの視点（評価方法）
1	思考・表現 持ち寄った遊びを基に班の「おみせ」についての自分の思いや考えを表すことができる。	・『〇〇フェスタ』で、どのような「おみせ」がよいかについて、自分の思いや考えを表しているか。（ワークシート、対話、発言）
2	関心・意欲・態度 「おみせ」作りに必要な物や役割について意見を出したり、役割について決めたりしようとする。	・「おみせ」作りに必要な物と役割について自分から進んで具体的な意見を伝えたり、役割を引き受けたりしようとしているか。（発言、班のワークシート、行動観察、対話）
3	関心・意欲・態度 自分の役割や班全員でする活動に進んで取り組み、「おみせ」に必要な物を作ろうとする。	・自分の役割や班全員でする活動に進んで取り組み、「おみせ」に必要な物を作ろうとしているか。（発言、行動観察、対話）
4	思考・表現 自分の遊びの説明をお客さん側に分かるように表すことができる。	・自分の考えた遊びについて、遊び方や遊ぶ順序などを考えて絵や言葉などで表すことができているか。（ワークシート、対話）
5 6	気付き ・他の班や自分たちの班の「おみせ」の工夫やお客さんへの接し方のよさや改善点に気付く。	・他の班や自分たちの班の遊びや説明の仕方、お客さんへの対応の仕方について、友達のよいところや改善点に気付いているか。（おきゃくさまカード、発言、ワークシート、対話）
7	関心・意欲・態度 よりよい「おみせ」にしようとして改善したり工夫しようとしたりする。	・他の班の様子や改善点についてのアドバイスを基に、班の友達と協力して「おみせ」の工夫をしようとしているか。（発言、行動観察、対話）
8	思考・表現 お客さんが喜ぶような対応を工夫することができる。	・お客さんに合わせて、遊び方の説明やルールの変更などを分かりやすく伝えることができている。（行動観察、ワークシート、対話）
9	気付き 他の班のよさや自分のグループや自分のよさに気付く。	・他の班の「おみせ」の工夫や遊び方の説明の仕方、お客さんへの接し方のよいところに気付いているか。（おきゃくさまカード、発言、ワークシート、対話） ・自分の班の遊びや説明の仕方、お客さんへの対応の仕方について、よいところに気付いているか。（ワークシート、対話）
10	思考・表現 本単元での自分の活動を振り返り、友達や自分の頑張りやよさについて考え、絵や文で表す。	・単元全体を通して、同じ班の友達の頑張りやアイデア、協力などについて、意見を述べたり賞状に書き表すことができているか。（発言、対話、班のワークシート、賞状）
11	気付き 本単元での「おみせ」作りやお客さんへの対応を通して自分の頑張りや成長などに気付く。	・単元全体を通して、自分の頑張りや考え、技能などの観点において、自分の頑張りや成長などに気付いているか。（振り返りカード、対話）

7 1 単位時間ごとの指導略案

(1/11時間)

・本時の目標・・・『〇〇フェスタ』で開く「おみせ」について班で話し合い、決める。

過程	主な活動	指導上の留意点・支援
であう	1 前単元の活動を思い出す。 2 本時のめあてをつかむ。	○ 前単元で作った遊ぶ物を使うことについて知らせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> みんなのしい 「おみせ」を 考えよう </div>		
おこなう	3 ワークシートに自分がしてみたい「おみせ」を考える。 ・何をする「おみせ」がよいか初めに一人で考える。 ・一人ずつ考えたことを基に班で話し合う。	○ 前単元に自分が作った物や遊び方、友達の遊びについて思い出させながらワークシートに書かせる。 ○ 班で1つの遊びに決めなくてもよいことを伝える。 ○ 班での話し合いでは友達の考えをメモしながら話し合うようにさせる。
ひらく	4 次時は班で詳しい計画をたてることを知る。	○ 今日の活動を振り返りながら、ワークシートに班で決まったことを記入させる。

(2/11時間)

・本時の目標・・・班で考えた「おみせ」の準備の計画を立てることができる。

過程	主な活動	指導上の留意点・支援
であう	1 前時の活動を思い出す。 2 本時のめあてをつかむ。	○ 前時のワークシートを見ながら振り返り、作るものについて班で話し合うことを知らせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> おみせ作りの けいかくをたてよう </div>		
おこなう	3 「おみせ」作りの計画について話し合う。 ・遊ぶ物はどうするか ・遊ぶ物の他に用意する物はないか ・だれがするか	○ 班で話し合わせ、班で決まったことをまとめる用紙と、各自が使うワークシートを用意しておく。 ○ 各自のワークシートに、自分の役割に必要なことを書かせる。
ひらく	4 次時は、「おみせ」作りをしていくことを知り、自分の役割やもってくる物を書く。	○ ワークシートに書いた準備する物を連絡帳に書き写させる。

(3・4/11時間)

・本時の目標・・・班で考えた「おみせ」を協力して作ることができる。

過程	主な活動	指導上の留意点・支援
であう	1 前時の活動を思い出す。 2 本時のめあてをつかむ。	○ ワークシートを基に自分の役割を確認する。
おみせ作りをしよう		
おこなう	3 各自の役割について必要な物を作る。 ・かんばん作り ・賞品作り ・おもちゃをつなげる など	○ 作りながら考えさせ、必要に応じて修正させていく。 ○ 作ったり考えたりする過程で、班の友だちと相談しながら活動するようにさせる。
ひらく	4 次時は、「おみせ」を試しに開いてみることを知る。	○ 遊び方の説明や本時の振り返りをワークシートに書く。

(5・6/11時間)

・本時の目標・・・「おみせ」を試しに開き、お互いによかった点やアドバイスを伝え合うことができる。

過程	主な活動	指導上の留意点・支援
であう	1 本時のめあてをつかむ。	○ 「おみせ」の準備をしておく。
『ちょこっとフェスタ』をしてみよう		
おこなう	2 本番を想定して、「おみせ」を開く。 ・班の中で、前半に「おみせ」の担当をする人と後半に担当する人とが交代して行う。 ・「お客さん」になったとき、おみせの人によかったところや、工夫などのアドバイスをする。	○ 前半と後半に分かれて行うことを知らせ、お客さん側になったときの活動について確認する。 ーおきゃくさまカードー ・「おみせ」でよかったところ ・「おみせ」で工夫した方がよいと思うところ
ひらく	3 班で「おみせ」を開いた感想や修正点について話し合い、次の時間の見通しについて書く。	○ 班での話し合いで出たことや決まったことを班と個人のワークシートに記入させる。

(7/11時間)

・本時の目標・・・「おみせ」の工夫を協力して行うことができる。

過程	主な活動	指導上の留意点・支援
であう	1 本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「おみせ」をパワーアップしよう</div>	○ 前時に話し合ったことを確認する。
おこなう	2 話し合ったことを基に「おみせ」の工夫を行う。 ・丈夫な物にする。 ・賞品を増やす。 など 3 「おみせ」の当番や遊び方の説明について確かめておく。	○ 手分けしたり，力を合わせたりすることを伝える。 ○ 当番の役割や，遊び方の説明を班で確認させ，ワークシートに記入させる。
ひらく	4 今日の活動の振り返りを班で行う。	○ 今日の活動を振り返りながら，『〇〇フェスタ』に向けて頑張りたいことをワークシートに書かせる。

(8・9/11時間)

・本時の目標・・・「おみせ」を協力して開き、『〇〇フェスタ』を楽しむことができる。

過程	主な活動	指導上の留意点・支援
であう	1 本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">『〇〇フェスタ』で「おみせ」をがんばろう</div>	○ 事前に「おみせ」の準備をさせておく。
おこなう	2 「おみせ」の側やお客さん側になり『〇〇フェスタ』に参加する。 ・お客さん側では，「おきやくさまカード」に，よかったところを書き「おみせ」の班に渡す。	○ お客さんに書いてもらう「おきやくさまカード」を教師が用意しておき，各班の「おみせ」に置いておく。 ○ 2年生同士では，必ず「おきやくさまカード」を書かせるようにする。 ○ 他の学年の人や保護者，地域の人にも「おきやくさまカード」を書いてもらうようにする。
ひらく	3 今日の活動の振り返りをする。	○ 今日の活動を振り返りながら，ワークシートに「おみせ」での頑張った様子や楽しかったことなどを記入させる。

(10・11/11時間)

- ・本時の目標・・・単元の学習を振り返り，友達のよさを伝え合う活動を通して，自分のよさについて気付くことができる。

過程	主な活動	指導上の留意点・支援
であう	1 本時のめあてをつかむ。	○ 前時のワークシートを含め，単元全体のワークシート綴りを用意しておく。また、『○○フェスタ』での各班の様子の写真を用意しておく。
『○○フェスタ』の「がんばった」をつたえよう！		
おこなう	2 自分たちの「おみせ」を中心に，班の頑張りについて振り返る。 3 同じ班の友だちのよいところを，お互いに賞状に書いて渡す。	○ もらった「おきやくさまカード」や写真，前時のワークシートなどを基に自分たちの「おみせ」について頑張ったことを振り返らせる。 ○ これまでのワークシートを基に同じ班の友だちの頑強りを賞状に書かせ，お互いに表彰し合わせる。
ひらく	4 単元を通しての振り返りをし，自分のよさについて振り返りカードに書く。	○ できるようになったことや頑張ったことなどを具体的に記述させる。